

第6回ワールドフード+ふれ愛フェスタの報告と感想

東名古屋分区ガバナー補佐
長瀬 輝代之



今回、ガバナー補佐として、東名古屋分区のブースの企画を担当しました。2つのブースの内、1つは東日本被災地の学生が名古屋の看護学校で学ぶための支援金を募るべく、福島県の物産販売を中心に、RCCが支援する授産所の商品（木製のおもちゃ、石鹸、布製品等）や給食支援のための書籍販売ブース。もう1つは、東山公園の絶滅危惧種を守る為の募金ブースです。



今年は天候にも恵まれ、隣接するイベント会場への人の流れも多く、例年より入店客数や売り上げも予想以上で、各担当者から喜びの言葉を聞くことができました。分区12クラブから、2名ずつ販売のお手伝いをして頂き、各分区のブース担当補佐とも協力し合い、懇親を図ることもできました。

ここからは反省点ですが、会場全体でステージが3か所ありましたが、演者の移動を考慮すれば、2か所でよいと思いました。また、委員会のブースが少人数で負担が大きいと感じました。今後は、会員から広く参加を募り、皆が体験の場とするのが望ましいと思いました。

次回は会場が変わると聞いていますので、例会場のスペースの確保に配慮頂きたいと思います。地区全体でより多くの会員参加を実現するには、会場での例会が必須だと思われます。次回の更なる成果を期待します。

それぞれ予想以上の成果が上げられ、各担当者から喜びの言葉を聞くことができました。

